

1. 研究課題名	<p>異所性骨化疾患における CT 経時差分画像の有用性の検討</p> <p>京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けて実施されます。</p>
2. 研究機関・研究責任者・情報管理責任者	<p>京都大学大学院医学研究科 教授 松田秀一</p>
3. 研究目的	<p>本来骨形成の起こらない組織に骨組織ができてくる異所性骨化という病態は、骨化性筋炎、後縦靭帯骨化症や黄色靭帯骨化症、進行性骨化性線維異形成症で認められます。新しい画像から古い画像を差し引いて作られる CT 経時差分画像が最近開発されており、異所性骨化を示す疾患に対する病態解明や医薬品開発にも繋がるのが期待されます。この CT 経時差分画像を用いて異所性骨化を示す疾患を対象とし、異常に骨化した部分を見つけ出したり、時間経過に伴う変化を画像で確認して、この技術が異所性骨化の評価に役に立つかどうかを調べることがこの研究の主な目的です。</p>
4. 研究期間	<p>医の倫理委員会承認後 4 年間</p>
5. 研究概要	<p>京都大学医学部附属病院で 2016 年 3 月 1 日～2019 年 12 月 31 日までの間に、骨化性筋炎、後縦靭帯骨化症や黄色靭帯骨化症や進行性骨化性線維異形成症が疑われ、もしくは診断されて、京都大学医学部附属病院外来棟 CT 室にて CT 検査が施行された患者さんを対象とします。診療録に記録された診療情報（生年月日、性別、病歴、身長・体重、等）・CT 画像検査等を、研究に使用させていただきます。異常に骨化した部分を従来の CT 画像、及び CT 経時差分画像の両方で評価し、臨床情報との関連性を検討します。</p>
6. 倫理面での配慮	<p>この研究はヘルシンキ宣言及び文部科学省・厚生労働省の人を対象とする医学系研究に関する倫理指針に基づいて立案され、京都大学医の倫理委員会の許可を受けて遂行されるものです。</p>
7. 拒否権の保証について	<p>この研究実施については京都大学整形外科のホームページ上に公表し、研究の参加拒否について相談窓口の申し出により、研究対象からは除外いたします。</p>
8. 結果の公表について	<p>この研究によって成果が得られた場合は、国内外の学術集会・学術雑誌などで公表します。その際にも、ご提供いただいた方の個人情報が見えたりすることはありません。</p>
9. 研究組織、利益相反について	<p>この研究は京都大学医学部附属病院整形外科と放射線診断科の協力のもとで行います。本研究の研究資金に関しては運営交付金により賄われます。CT 経時差分画像を作成する際に使用予定のキャノンメディカルシステムズの医用画像処理ワークステーション「Vitrea」は、京都大学医学部附属病院放射線診断科とキャノンメディカルシステムズ間の共</p>

	同研究契約「CT 装置の臨床有用性検証及び臨床解析ソフトウェア開発」により貸与されています。
10. 研究のお問合せ先ならびに苦情等の窓口	京都大学医学部附属病院 相談支援センター (Tel) 075-751-4748 (E-mail) ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp 京都大学医学部附属病院整形外科 講師 大槻 文悟 連絡先住所：〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町 5 4 電話番号：075-751-3366